

平城西地区防災防犯委員会三回～議事録～

日時：7月12日(土) 13時30分～15時30分

場所：中山西3・4丁目の集会所

■グループ討議からの全体討議

Aグループ（避難マップ・プラン作成）

発災した場合、メンバーも限られているためマニュアル通りにはいかない。この地区は津波の心配などもなく、倒壊する家も限られていると考えた場合の防災への取り組みは必要であるが、マップ作りやマニュアル作りを一からスタートさせるのは、担当への負担になる。

既存のマニュアルを使うか編集するのは良いが、一からというのは避けたい。

Bグループ（会則・マニュアル改訂）

・既存のマニュアルは不都合な点があり、改訂する必要がある。危機管理課にマニュアルについての意見を求めたところ、内容が重たすぎるため簡略化したほうが良いと言われた。

・会則の事務所の名称はどうするのか？名称の管理をどうすれば良いか？

会長→現在は会長宅だが、建物の名称については総会までにセンター（名称不確定）を確立して、登録する流れにしたい。

池田さん→センターの名称が通じないことを考えて、名称に旧幼稚園ということが分かる工夫が必要では？

Cグループ（避難訓練）

避難訓練時の担当決めを検討したい。昨年は起震車がなかったため、女性防災を中心に担当した。女性防災とともに、自主防メンバーの担当も決めたい。

昨年を参考に、各ブースを回れるようにしたい。

■避難訓練について

【ブースの場所】



体育館：体験談・AED・LIVE119・子ども向け防災映像・転倒防止器具取付け・非常食の試食・防災グッズ展示・

体育館以外：起震車・けむり体験・水消火器放水体験・日常用品を防災時に応用&災害対応車両の展示

【当日の流れ】

①8時半に自主防委員が集合し、避難所の開設の確認（備品チェック等）をする。

開設の手続きについては、市職員に岡本さんから確認する。

②9時から受付（民生が担当）

③体験談

体験談の際に、災害ボランティアセンターの話を社協の方にしていただいては？

④各ブースを回る

体験談後、100名を残して残りの100人を体育館外のブースに誘導して混乱を回避。

1時間で体育館内外の100名を入れ替える想定。

・起震車について

120名限定とし、自治会のグループで希望者4名を募る。自治会に入っていないグループを2グループつくってはどうか。

・子ども向けスペース（防災映像の鑑賞など）

入口から遠い端にすれば、危なくない。

スタンプラリーが可能であれば、景品引換所の役割ももたせる。

スタンプラリーは印刷するのが手間になるため、自治会ごとに色違いの厚紙を準備し、シールを貼る仕様が簡単。色によって、各自治体での子どもの参加者数も把握できる。

【その他】

・司会が体育館と体育館外と2人必要

・体育館の出入り口は2箇所

・当日は水消火器だが、通常の消火器の消火可能な秒数が14～17秒と短いため、もたもたしていると消火できない可能性があるためアナウンスが必要か？

■会長から

・避難場所に入る際の登録について

QRコードにて個人でできるのかを市が確かめたいとのこと。8月30日～9月5日の間、登録ソフトが使える。

・防災リーダー

自主防の会長がまとめて登録可能だったが、今年からは各個人で登録が必要になる。

・8月の委員会では、参加人数の半分が避難場所・避難グッズの大まかな確認をし、残り半分は課題に取り組む予定。

次回8月委員会は、防災情報研修センターのある旧平城幼稚園での開催（案）